

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52314	幼児教育方法 Methods of Early Childhood Education	清原 みさ子	専門	1	選択	2年 前期
科目の概要						
この授業は、教育職員免許法上「教育課程及び指導法に関する科目」の「教育の方法及び技術」に相当するので、主に乳幼児の保育・教育の指導方法・形態について学ぶ。また、教材の活用を含む技術についても、基本的な理解を得る。						
学修内容			到達目標			
① 保育・幼児教育における援助・指導の基本的考え方を学ぶ。			① 援助・指導の基本的考え方を理解できる。			
② さまざまな保育形態・指導方法にかかわる言葉を理解する。			② 保育形態・指導方法に関する用語をきちんと理解できる。			
③ さまざまな保育形態・指導方法の良いところ、問題点について考える。			③ 保育形態、指導法について考えることができる。			
④ 教材の活用に関して学び、保育現場で応用できるように考える。			④ 教材の活用に関して考えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業で理解できないことがある場合は、積極的に質問する。				
	働きかけ力					
	実行力	主体的に考え、話し合いに積極的に参加する。				
考え抜く力	課題発見力	実際に援助・指導を行う場合の課題について考える。				
	計画力					
	創造力	様々な実践例から、幼児期にふさわしい教育方法について考える。				
チームで働く力	発信力	自らの意見をわかりやすく伝える。				
	傾聴力	授業を集中して聞く。話し合いでは、きちんと意見を聞く。				
	柔軟性					
	状況把握力	実践例から、どのような指導・援助がなされているか、状況を把握する。				
	規律性	話し合いには積極的に参加し、ほかの人の意見をしっかり聞く。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト：『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説書』、教授者作成のプリント 参考文献：なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連：保育原理、教育原理、保育内容 資格との関連：幼稚園教諭普通2種免許状、保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
幼稚園、保育園の実践記録を沢山読む予定なので、保育者になった時のことを考えながら、学ぶこと。			授業中は集中して聞き、わからないこと等は分からないまま終わらせず、積極的に質問すること。 話し合いには、積極的に参加すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	90	①	✓	小レポートを含み、その実施に関しては、授業中に予告する。
		②	✓	①援助・指導の基本ちえき考え方を理解できたか。
		③	✓	②保育形態・指導方法に関わる言葉の意味することを理解し、覚えたか。
		④	✓	③様々な保育形態・指導方法の長所・短所について考えられたか。
				④教材の活用について、考えられたか。
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)授業で理解できないことがある場合は、積極的に質問し、意欲的に学習に取り組む。
		②		(実行力)主体的に考え、話し合いに積極的に参加したか。
		③		(課題発見力)実際に援助・指導を行う場合の課題について、実習での経験を踏まえながら考える。
		④		(創造力)様々な実践例から、幼児期にふさわしい教育方法について考える。
				(発信力)自らの意見をわかりやすく伝える工夫をしたか。
				(傾聴力)授業を集中して聞いたか。また、話し合いでは、きちんと意見を聞くようにしたか。
				(規律性)授業中は、課題に集中して取り組んだか。話し合いではほかの人の意見をしっかり聞いて、真剣に考えたか。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
保育方法・形態に関する言葉をきちんと理解する。 幼児期には、どのような教育・保育方法が望ましいのか、幼児教育・保育の基本理念を踏まえたうえで、考えることができる。	保育方法・形態に関する言葉の意味がわかり、幼児教育・保育の基本理念をから、どのような方法・形態が望ましいのか考える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	この授業の概要、進め方、評価等について理解する。	講義	授業の流れ、評価等について理解する	(復習) 授業の流れを覚える。	30	主体性 傾聴力
2週 /	『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説書』をもとに、援助・指導の基本的考え方を理解する。	講義・演習	援助・指導の基本的考え方がわかる	(予習) 2冊の該当箇所を読んでくる。 (復習) 話し合いで出された意見を整理する。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
3週 /	現在用いられている様々な保育形態・指導方法に関する用語について、学ぶ。	講義・演習	保育形態・指導方法に関する用語が理解できる。	(復習) 用語を整理し、要点を覚える。	45	主体性 傾聴力
4週 /	保育方法について、歴史的にどのような理論が展開されてきたのか学ぶ。	講義	保育方法の理論が歴史的にどのように展開されてきたのか理解出来る。	(復習) 配布された資料を読み直して、まとめる。	45	主体性 傾聴力
5週 /	実際にどのような保育方法が行われてきたのか、理解を深める。	講義・演習	実践例を基に、どのような保育方法が行われてきたかわかる。	(復習) 配布された資料を読み直して、整理する。	45	主体性 傾聴力
6週 /	プロジェクト・メソッドと保育① “プロジェクト”の基本的考え方を学ぶ。	講義	プロジェクト・メソッドが理解できる。	(復習) 配布された資料を読み直して、まとめる。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
7週 /	プロジェクト・メソッドと保育② “プロジェクト”による保育の実際について、事例を基に考える。	講義・演習	プロジェクトによる実践を理解する。	(復習) 配布された資料を読み直して、整理する。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
8週 /	保育所の実践記録、事例を通して、援助・指導の実際について理解する。3歳未満児の教材の活用についても学ぶ。	講義・演習	3歳未満児への援助・指導の実際を理解できる。	(復習) 実践記録をもう一度読みかえしてみる。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	保育所の3歳以上児の実践記録、事例に基づき、援助・指導の在り方を学ぶ。	講義・演習	3歳以上児への援助・指導の在り方がわかる。	(復習) 記録を読みかえし、話し合ったことを整理する。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
10週 /	幼稚園の実践記録、事例を通して、援助・指導の実際について理解する。	講義・演習	援助・指導の実際を理解する。	(復習) 実践記録を読みかえし、援助・指導のポイントを考えてまとめる。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
11週 /	幼稚園で、教材、教育機器がどのように活用されているか、実践例を基に学ぶ。	講義・演習	機器の活用の実際を理解する。	(復習) どのような教材、教育機器があるか、探してみる。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
12週 /	様々な保育の場面で、どのような指導方法・形態があるかについて、学ぶ。	講義・演習	様々な指導方法・形態を理解する。	(復習) 方法・形態に関わる用語をもう一度復習した上で、考えてみる。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
13週 /	様々な指導形態・指導方法のよいところと、問題点について考える。	講義・演習	指導方法・形態について考えられる。	(復習) 資料もう一度読み直して、様々な指導方法の長所をまとめる。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
14週 /	教材・教具、教育機器の活用について学ぶ。また、乳幼児期の'学び'は'はどうあるべきか、考える	講義・演習	教材・教具、教育機器にはどのようなものがあるか理解する。	(復習) 8回目、11回目の資料も合わせて見直す。	30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	半期の授業のまとめを行う。	講義		(復習) 半期の授業で学んだことをまとめる。	180	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力